

熊本子ども 囲碁便り

64
2017.10.30

帰ってきた七冠



10月17日、井山裕太プロが昨年手放した名人位を
奪い返し2度目の七冠を達成しました。

すべてのタイトルを制覇し、2度も七冠に輝くのは、

囲碁界将棋界通じて初の快挙です！！



棋聖

名人

本因坊

王座

天元

碁聖

十段



◆ 記事

- ・第22回熊本子ども囲碁交流大会
- ・第7回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 熊本県予選
- ・第32回全九州高等学校囲碁選手権熊本県大会
- ・NHK公開復興サポート
明日へ in 熊本「囲碁フォーカス」公開収録
- ・モンゴルでも囲碁を
- ・「楽しい囲碁体験教室」@子ども文化会館
- ・第18回 夏休みこども囲碁強化合宿@京都

- ・第7回囲碁フェスティバル in みやま観戦記
- ・古今無双の最強の名人になる
- ・熊本子ども囲碁普及会研鑽会
- ・『囲碁のマナー』について
- ・棋譜並べ
- ・お知らせ・大会日程
- ・会員一覧 ・各地の教室
- ・実戦棋譜

■ ■ 第 22 回熊本子ども囲碁交流大会

10月22日（日） 熊本市青年会館にて第22回熊本子ども囲碁交流大会が開催されました。台風21号の影響が心配されるなか 160名の参加があり、日ごろの練習の成果をぶつけ合いました。本大会の全勝者は以下の通りです。

<全勝者>

○19 路盤の部

上田健心(東町小3年)	大久保秀真(城東小5年)
高木丈翔(画図小5年)	野村和正(黒髪小4年)
堀口真由美(城東小5年)	上村越生(託麻原小2年)
野元優音(松高小5年)	中野結菜(託麻南小5年)
吉田達哉(東町小3年)	木村悠聖(尾ノ上小4年)
上村英太郎(白山小2年)	太田創磨(健軍東小6年)
山本継太郎(奥古閑小2年)	古田結唯(白川小1年)
河野晃緒(幼稚園)	

○13 路盤の部

山浦有紀(白山小2年)	吉野 佑(幼稚園)
-------------	-----------



▲対局中の様子

毎回のことですが、大会前の会場設営、大会後の片付けや受付等、保護者の方のご協力を頂き大会はスムーズに運営できております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

■ ■ 第7回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 熊本県予選

10月22日（日）熊本市青年会館第一会議室にて開催しました。低学年の部は上田健心君と國松聡君の一騎打ちとなり上田君が接戦を制しました。高学年は6名が出場。リーグ戦により全勝の宮本将伍君が優勝しました。2人は12月16日（土）17日（日）岡山県倉敷市で開催される全国大会に出場します。

優勝者（熊本県代表者）

低学年の部

上田健心 君（東町小 3年）



高学年の部

宮本将伍 君（尾ノ上小 4年）



おめでとう！！

全国大会も頑張って！！



※「決勝戦の棋譜」および「観戦記」を、お便りの最後のページに記載しています。

■ ■ 第32回全九州高等学校囲碁選手権熊本県大会

9月9日（土）に水前寺共済会館グレースにて第32回全九州高等学校囲碁選手権熊本県大会が開催されました。以下の入賞者は、12月に沖縄県那覇市で開催される全国大会へ出場します。

男子団体	優勝	熊本高校
女子団体	優勝	真和高校
男子個人	1位	真和高校 板垣友輝
	2位	学園大学付属高校 藤川浩希
	3位	第二高校 山本大輝
女子個人	1位	真和高校 森美咲希
	2位	文徳高校 芦田華
	3位	第二高校 前島彩乃



▲会場の様子

■ ■ NHK公開復興サポート 明日へ in 熊本「囲碁フォーカス」公開収録

10月15日（日）に、毎週NHKで正午から放送されている、囲碁フォーカスの公開収録が、尚絅学園九品寺キャンパスで行われました。参加者は、子どもからベテランまで、囲碁好きが一堂に会し、総勢80名ほどにもなりました。

講師に、小林寛九段・鶴山淳志七段・安藤和繁五段・吉田美香八段・ダイアナガーネットさんを迎え、テレビで見る囲碁フォーカスとは一味違う、公開収録を味わうことが出来ました。“初段への道”の収録では、安藤和繁五段の問いに、子どもたちが一斉に手を挙げ、正解を連発する光景も見られました。終始、皆真剣にプロの話に聞き入っておりましたが、収録ならではの笑いも多く、とても和やかな雰囲気であったと感じます。また、生で見るダイアナガーネットさんは、とても色白美人で、大人の囲碁ファンを釘づけにしていました。

尚、この収録の様子は、11/26（日）12：00～の囲碁フォーカスで放送される予定となっておりますので、是非皆様ご覧ください。

熊本西囲碁教室代表 板井太志



▲全員参加 大連碁の様子（トッププロの解説付き）



■ ■ モンゴルでも囲碁を

私はエレデネの父です。私たちはモンゴル人です。エレデネが囲碁を始めたのは今年の 5 月からです。先生たちや同じ教室の友だちのおかげで、囲碁を好きになり今日まで囲碁教室に通っています。

実は教室に通う前まで 囲碁というゲームは日本が発祥だと思っておりました。日本に長く住んでいるので、日本の文化からちょっとでもエレデネが学んで、モンゴルに戻るといいなと思って、日本文化だと思っていた囲碁に興味をもち「上通子ども囲碁教室」に通い始めました。しかし、囲碁教室に通い始めてから、中国が発祥だと知りました。

モンゴルで囲碁というものを聞いたことがないので、頭の体操にもなる囲碁をモンゴルでも打つ人が増えればいいなと思います。

ツェルメグ・エレデネの父



■ ■ 「楽しい囲碁体験教室」@子ども文化会館

8 月 18 日（金）の午後、熊本市子ども文化会館で「楽しい囲碁体験教室」があり、小学生 12 名および保護者 2 名が参加しました。熊本西囲碁教室の板井講師の指導で、一新子ども囲碁教室の小西講師と平山講師がアシストしました。



▲初めての子どもに熱心に教える板井講師



▲優しくサポートする小西講師と平山講師

子どもたちは、初めて囲碁に触れ、好奇心とともに、考えることの楽しさを学んだと思います。囲碁を通して、まさに熊本市子ども文化会館の存在意義でもある、地域や年齢の違う子どもたちとの交流が図れば幸いですね。

熊本西囲碁教室代表 板井太志

囲碁が初めての子どもたちに、第 1 部で入門知識を教え、第 2 部は早速指導をしながら子ども同士の対局が始まりました。子どもたちは 90 分間、楽しい囲碁体験が出来、9 路盤の囲碁セットのお土産をもらって喜んで帰りました。今後近くの囲碁教室に通う子ども出てくると良いですね。

一新子ども囲碁教室 毛利秀士

■ ■ 第 18 回 夏休みこども囲碁強化合宿@京都

8 月 10 日～13 日で開催された第 18 回 夏休みこども囲碁強化合宿に参加した子供たちの感想です。

☆～☆

私は、京都の囲碁合宿に行って思った事は、3 つあります。

まず 1 つ目は、色々な人と打った事です。熊本の人たちと打つこともあったけど、他の県から来てた人とも打てました。1 日目は、全然勝てなかったけど、2 日目、3 日目になると、だんだん勝ててきて嬉しかったです。子どもたちだけでなく指導碁も打ってもらい、すごく勉強になりました。また私は、この 3 泊 4 日で最多対局賞だったことも良かったです。

2 つ目はご飯です。とても多くてびっくりしました。朝も昼も夜も豪華でしたが、全部は食べられませんでした。けれど、どれもおいしくて印象に残りました。

3 つ目は部屋です。夜は旅館の部屋で寝ました。夜の 9 時頃まで囲碁があったので夜はすぐ寝れました！朝は起きるのが早く大変でした。部屋には八つ橋とコーヒ－牛乳が置いてあり、やっぱり八つ橋はおいしかったです

私はこの 3 泊 4 日は夏休みの中で、一番の思い出になりました。

人吉第二中学校 1 年 米田 碧

☆～☆

京都の囲碁合宿に行って思ったことは、今まで対局したこともないすごく強い人がいたことです。六段の人と対局をしたときは、すごく強くて全然地が足りなくて負けてしまいました。それでも、最後の日に京都では五段になったので嬉しかったです。これから、もっと強くなって全然勝てなかった六段の人にも勝てるようになりたいです。また、来年も行きたいです！

人吉西小学校 4 年 米田 伊吹

～ ～

■ ■ 第 7 回囲碁フェスティバル in みやま観戦記

10 月 15 日に福岡県みやま市にて第 7 回囲碁フェスティバル in みやまが開催され、約 200 人が級位戦から名人戦までの 8 つのパートに分かれて熱戦が繰り広げられました。熊本からは大人子供合わせて 31 人の参加者があり、昨年より多くの方が熊本より参加されました。地震の影響で熊本から福岡に引越された橋本千明ちゃんも参加し、3 位と見事な結果を残されました。この大会は副賞が 3 位まであり、次男の慶が級位戦 B の部で準優勝し、豪華海苔セットをいただきました。二重の意味でうれしい結果となりました。参加者の年齢層は最年少 5 歳（次男の慶、年少参加賞を受賞。）から最高齢 88 歳（高齢参加賞が授与）までと実に幅広く、囲碁は生涯続けられる大変すばらしい趣味だなと思いました。



▲会場の様子

また、稲葉禄子インタラクターによる囲碁教室も同時に開催され、40 人程の参加がありました。初心者の方にも非常に分かりやすく教えていただき、すぐに上達するかは分かりませんが、囲碁がますます楽しくなりました。

最後になりましたが、阿蘇の藤崎先生は遠かったで賞を受賞されました。

國松 聡・慶の母

■ ■ 古今無双の最強の名人になる



「古今無双の最強の名人になる！」—江戸の後期にこんな破天荒な夢を持ち、囲碁に命を懸けた一人の少年がいた。その少年こそ、当時の碁打ち達を震撼させた稀代の風雲児、幻庵因碩こと井上因碩である。彼の天賦の才をいち早く見出し、6才で入門させ13才の時に正式に養子として受入れ、後継ぎとすべく夢の実現を託す義父の服部因淑（服部家は4家元である井上家の外家で、その後、因碩は22才の時に井上家の養子になり井上安節と名乗った）。その因碩の前に立ちはだかる本因坊丈和をはじめ、すい星の如く現れた俊秀など数多くの天才達。江戸時代の260年間に誕生した名人はわずかに8人。彼らは囲碁界最高権威であるその「名人」の座をめぐって盤上で、時と

して盤外で権謀術数の限りを駆使しながら、正に、家元の存続を懸けた命懸けの凄絶な闘いを繰り広げていった。百田尚樹著「幻庵」上・下二巻は囲碁を題材にした一大スペクタクルともいえるロマン溢れる氏の渾身の一作である。囲碁便り No.17 で紹介した川端康成著「名人」と共に、囲碁ファンのみならず、多くの方に是非、読んで頂きたいお薦めの一冊である。尚、この著書の中に幻庵の弟子で後継者と目された肥後藩菊池出身、赤星千十郎(本名千太郎)が登場する。また、江戸無血開城の立役者である勝海舟の少年期、勝麟太郎が登場するのは何とも興味深い。

熊本子ども囲碁普及会監事 後藤 渉

■ ■ 熊本子ども囲碁普及会研鑽会

9月30日（土）10時から12時半まで、上通子ども囲碁教室で、研鑽会が開催されました。熊本市、人吉市及び八代市から、子ども8名、大人6名が参加し、子どもの先番で、1人5から6局対局しました。

対局後には、「この手が良かった。」「こう打っていたら、もっと良かった。」等を丁寧に教わっていました。子ども達からは、「楽しかった。」「また、対局したい。」との声が聞かれました。

肥後っ子たちは、全国子ども囲碁大会で上位に入賞するなど、頼もしく成長しています。「研鑽会」は、子ども囲碁教室を牽引している有段クラスの子も達が、アマ高段者から刺激を受け、上達のきっかけを掴むとともに、県下の子も囲碁界全体のレベルアップと普及を目指して開催されました。大人は、内田肥後本因坊ほか県下トップクラスの方が指導に当たりました。

今後、毎月1回程度開催予定です。当面、有段者クラスを対象とします。今回、参加できなかった人は、次回、参加を待っています。また、級位の方は、有段者クラス入りを目指して頑張ってください。見学もOKだよ。

熊本子ども囲碁普及会理事長 福岡 喜一郎



■ ■ 『囲碁のマナー』について

みなさんがご存知の通り、囲碁はとても楽しいゲームです。しかし、「ルール」はもちろんのこと『マナー』を守らなければ、お互い嫌な気持ちになり楽しむことができません。今回は、そんな『囲碁のマナー』から基本的なものだけピックアップして紹介します。

<対局者のマナー>

・はっきりと挨拶をしよう

対局を始めるときは 「よろしくお願いします」と言おう

対局が終わったときは 「ありがとうございました」と言おう

投了するときは 「負けました」もしくは「投了です」もしくは「ありません」と言おう

・姿勢を正しくしよう

きちんとした姿勢で座り、貧乏ゆすりなどしない。

・必要な時以外はおしゃべりをしない

必要な時以外は黙って打ちましょう。真剣勝負中の無駄なおしゃべりは、喧嘩の元になります。

・着手以外の時は手は膝の上

碁笥に手を入れて碁石をジャラジャラしない。

何度も碁石を置き直さない。（碁石が手から離れなければルール違反ではありませんが、マナー違反なので控えましょう。）

・勝った直後に対局相手の前ではしゃがない。

負けた相手の気持ちを考えれば、自然とできることです。完全に相手から離れた後に、存分にはしゃいで喜んでください。

<観戦者のマナー>

・対局者に近づき過ぎない

集中している対局者の邪魔にならない様にしてください。子ども大会では、保護者の方もご協力お願いします。

・声を出さない、顔や仕草で反応しない

助言やヒントとみなされて「打ち直し」や「失格」になる場合もあります。

棋力と共にマナーも上達させて、楽しく囲碁を打ちましょう！



※ 碁石は絶対に
食べないでください。

■ ■ 棋譜並べ

こんにちは、最近の「上通子ども囲碁教室」での子どもの練習風景についてです。城東小5年の女の子、H・Mさんがある日、たまたま対局の相手がいなかったのか、雑誌「碁ワールド」を広げて井山裕太プロなどの棋譜を静かに並べ始めました。従来、稀なことだったのでその訳を尋ねてみました。何でも、両親の知人が足付碁盤をプレゼントしてくれたそうで、自室の真ん中にその碁盤を置いて寝起きしているとのこと。一人では碁も打てないので、夜はテレビも見ないで黙々と棋譜並べをしているそうです。彼女曰く、「テレビ見るより楽しいです＼(^o^)／」

教室での彼女の棋譜並べを見ていた他の子どもたちも、いつの間にか真似して並べるようになりました。先生である指導者が何度言っても「そんな面倒くさい、つまらない！」と言ってしなかったのに、今ではなぜか言われもしないのに棋譜並べしています。

子ども同士の感化のパワーはすごいものがあると改めてこちらが学ばされました。

上通子ども囲碁教室 芦田司

■ ■ お知らせ・大会日程

☆2017 学校囲碁指導者養成講習会

日 時：11月26日（日）9:30～11:30

場 所：熊本市東部交流センター（熊本県熊本市東区戸島町2588 096-349-0888）

参加費：無料

講 師：日本棋院プロ棋士 水間俊文七段

申込先：当法人事務局まで（11月19日締め切り）

☆第22回 熊本青少年囲碁の集い

日 時：12月17日（日）受付8:30～8:50 開会 8:50

場 所：熊本日新聞社

参加費：500円（弁当なし）

申込先：各教室、一般は事務局まで（12月7日締め切り）

☆熊本子ども囲碁研鑽会

対 象：有段者（小中学生）

日 時：月1回を目途に開催中。開催日時については、ホームページをご確認ください。

場 所：熊本市内（開催日によってかわります）

参加費：500円

申込先：当法人事務局まで

☆お知らせや大会情報については、ホームページに掲載されています。随時更新されるので、ご確認ください。

ホームページ：<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>



■ ■ 会員一覧 主旨に賛同いただき、賛助会員として継続を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

法人会員

井筒屋化学産業（株）・熊本電気鉄道（株）・ルンビニー幼稚園・R K Kカルチャーセンター・（有）草野企画
熊本ファミリーライフサービス・重光産業（株）・日本棋院人吉球磨支部・（株）三優・（有）エムティエス松本
日の丸産業（株）・広瀬ヴァイオリンスクール・福田病院・熊本母と子の囲碁教室・（株）芦田・（株）セーフティガード
全労済熊本県本部

個人会員

長田幸基・松本晴子・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・岐部英登・川口雄一・島田万里・田口信夫・風口英利
徳尾芳道・徳尾幸子・藤本和美・上野剛彦・奥村拓司・大原照久・新道哲也・湯村フク・寺尾敏子・満井浩一
下地明友・下地君代・田中力男・鶴山繁實・渡辺武・石塚正司・駒崎照雄・後藤修一・松尾孝・八塚敬子
竹屋純子・元田美智子・河原田隆・田坂照夫・宮永康男・江藤茂・江藤由久子・西徳義・坂田祇彦・江富佑子・古庄剛
大島國壮・永野昭人・毛利秀士・見寄裕一・酒井ちはる・中野昭二・坂口信春・坂口仁寿・川上龍一・大森貞夫
峰由香・坂田敏昭・定永道明・安田節爾・盛山恒子・奥蘭惣幸・隈部敏・岩崎敏江・大河内俊子・緒方夕佳・渡邊勉
ジャイルス仁美・須藤悦男・桂文裕・長尾睦生・前出洋・秋岡廣宣・後藤孝美・山城佐知・志垣裕二・井島敏幸・託麻囲碁
クラブ保護者会・井沢重正・池田篤郎・佐藤英逸・中拂達・野崎照・中村寛・重野由紀・江藤剛・倉田千佳子・寺本博明
上田昭治・藤川雅朗・磯田麗子・高田若奈・熊須健一・吉田周一・藤崎幸次郎・宮本典明・瀬口良三郎・福岡喜一郎
宮川秀樹・加来義晴・佐村雄二（敬称略）

■ ■ 各地の教室・・・（アイウエオ順）

- R K K カルチャーセンター 子ども 囲 碁 講 座 （熊本市東区長嶺 096-383-3900）
- 囲碁サロン三連星☆ （熊本市中央区渡鹿 070-5819-8216）
- 一新こども囲碁教室 （熊本市中央区新町 096-352-7639）
- 尾ノ上コミュニティセンターこども教室 （熊本市東区尾ノ上 096-340-8731）
- 上通子ども囲碁教室 （熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005）
- 京塚子ども囲碁教室 （熊本市東区京塚 096-383-5492）
- 熊本母と子の囲碁教室 （熊本市東区下江津 096-370-2263）
- 熊本西囲碁教室 （熊本市西区城山大塘 090-6779-5250）
- おやこ囲碁交流会 （熊本市南区出仲間 080-3376-0407）
- 佐土原子ども教室 （熊本市東区佐土原 096-367-1707）
- 玉名立願寺楽碁長屋子ども教室 （玉名市立願寺 0968-73-9008）
- 日本棋院玉名支部教室 （玉名市岩崎 0968-74-4968 ）
- 日本棋院人吉球磨支部教室 （人吉市城本町 0966-28-3111）
- ヒカルの碁スクール「阿蘇」 （阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045）
- 武蔵ヶ丘コミュニティセンター子ども囲碁教室 （菊池郡菊陽町津久礼 096-232-5697）
- 松尾東子ども囲碁教室 （熊本市西区上松尾 096-329-6951）

編集後記・・・前回からお便りの最後に実戦棋譜と肥後本因坊である内田先生の観戦記が掲載されています。読みながら並べると上達すること間違いなしです！棋譜並べは物語を読む様に並べると楽しく勉強できますし、効率よく良いカタチを学ぶ方法だと思います。お試しあれ。（上村）

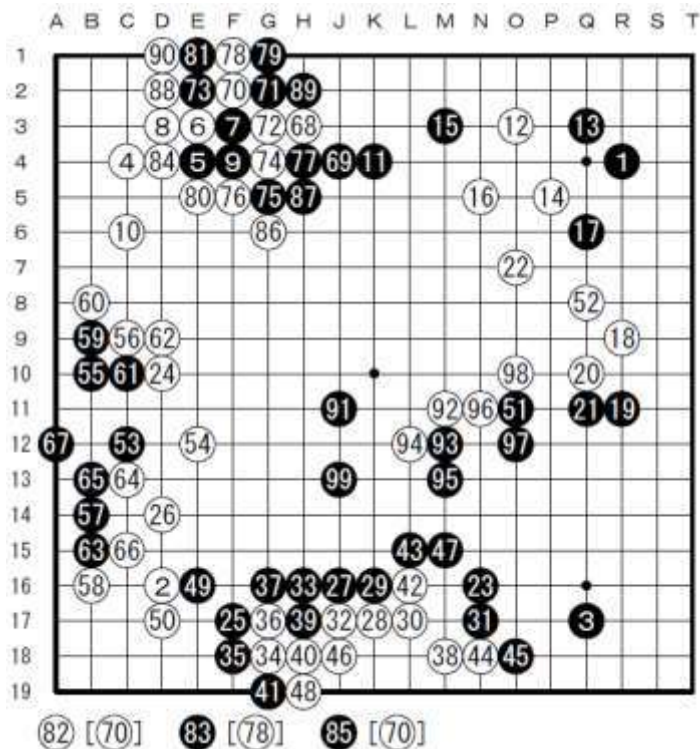
■ ■ 実戦棋譜

第7回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 熊本県予選棋譜

高学年の部

対局日：2017年8月6日 結果：黒中押し勝ち

黒番：宮本将伍君（尾上小4年） 白番：栗山莉一君（砂取小4年）



【観戦記】

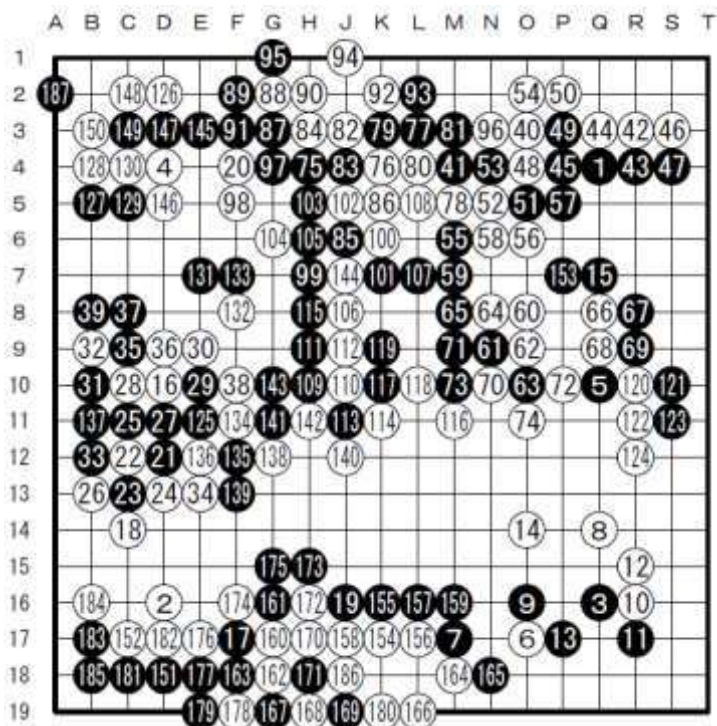
高学年の部は変則スイス方式で行われ、共に2勝同士で迎えたこの対局が事実上の決勝戦となった。黒の上辺の構えに対して白12から力かるのは苦しい。黒13、15、17と幸便に打たれ序盤から黒が打ちやすくなった。白は右辺ワリウチか右下力かりならば普通だった。劣勢の白は28の打ち込みから下辺黒地を荒らし、白50まで左辺も頑張り抜き地合い拮抗。ただし黒53の打ち込みに対する対応が甘く、左辺を簡単に荒らされては再び黒が優勢となった。白68の打ち込みから72のキリは最後の勝負手だが、黒に正確に受けられ勝敗が決した。

記）肥後本因坊 内田直也（NPO 法人熊本子ども囲碁普及会理事）

低学年の部

対局日：2017年8月6日 結果：黒2目半勝ち

黒番：上田健心君（東町小3年） 白番：國松聡君（託麻原小3年）



【観戦記】

どちらも攻めが得意の棋風で期待通りの熱戦となった。序盤、左辺の攻防で黒31のハネに対して白は137のキリが成立した。黒39まで1子を力かえては黒が成功。上辺白52のハネダシに対して黒55のカケは無理。白66のツケから味良く脱出され、さらに上辺の薄みをついた白は黒の6子をむしり取って優勢となった。中央で大きなフリカワリが行われた後、黒145に対する白146が頑張りすぎ。黒187のオキが手筋で左辺の白が頓死した。その後白は猛烈な追い込みをかけたが、黒が2目半差で逃げ切った。

記）肥後本因坊 内田直也（NPO 法人熊本子ども囲碁普及会理事）